



第14回CPC

排尿・排便障害で発症し、 低酸素血症を呈した1例

開催日：平成22年6月16日(水)

時間：17:30～19:00

場所：病院本館C41講義室

関連科：血液免疫内科、皮膚科、泌尿器科、
臨床病理

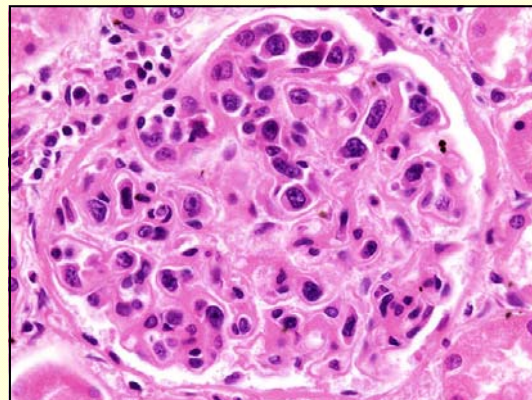
司会：森本 茂人 先生（高齢医学科）

尾崎 一晶 先生（消化器内科）

ミニレクチャー：正木 康史 先生（血液免疫内科）

症例：60歳代 男性

臨床経過：6ヶ月前から肛門周囲に3cm大の腫瘍、排尿・排便困難が生じ、次第に上肢の感覚障害、両下肢の脱力が出現した。発熱、LDH高値、CRP高値、低酸素血症がみられ、両下肢の脱力感が著明となり、入院となった。精査が開始されたが、入院4日目、突然心肺停止となり永眠された。詳細の資料は当日配布。右図は剖検時の腎糸球体の組織像。



CPC(臨床病理検討会)は病理解剖症例をもとに、私たちの医療行為を振り返り、医療の質の向上をはかることを目的とする勉強会です。研修医、各科医師はもちろん、学生、全職員、院外の先生方にも参加いただけます。放射線科医による画像の読影、コメディカルや看護師による指定発言、今回は血液免疫内科の正木康史先生のミニレクチャーを予定しています。

参加し、勉強しましょう！！

主催：金沢医科大学病院CPC実施委員会

連絡先：病院病理部（内線 5348）